

科目区分	専門教育科目	科目名	子どもと環境 (実務家教員担当科目)		科目コード	21Y330	担当者	本村 弥寿子			
対象学生	幼児教育学科 1年生	学期区分	前期		単位数	1	担当形態	単独			
		授業形態	講義								
科目		施行規則に定める科目区分又は事項等				卒業要件	必修				
領域及び保育内容の指導法に関する科目		領域に関する専門的事項（環境）				免許・資格要件	幼稚園教諭必修、保育士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
領域「環境」の指導に関連する、乳幼児を取り巻く環境や、乳幼児と環境との関わりについての専門的事項における感性を養い、知識・技能を身に付ける。						1. 「 反心 」 誠実な人柄と 人間力	2. 「 創造 」 高度な知性と 創造力	3. 「 実践 」 明確な意思と 実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 表現力・創造断力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	乳幼児を取り巻く環境や、乳幼児の発達にとっての意義を理解する。										
2.	乳幼児期の思考・科学的概念の発達を理解する。										
3.	乳幼児期の標識・文字等、情報・施設との関わりを発達を理解する。										
4.							◎	◎	○		
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						定期試験（80%） 受講態度（20%）					
教科書・参考書を使用し、板書しながら講義形式で行う。授業内容に応じてグループ活動を取り入れる。											
課題等への対応						授業外学修時間					
提出物は内容を確認し、授業で活用・紹介後返却する。						30分					
回数	授業計画					学習課題（予習・復習）					
第1回	オリエンテーション 現代社会と乳幼児を取り巻く環境					教科書に目を通し領域「環境」について予習する。					
第2回	乳幼児期の発達と環境との関わり					教科書に目を通し乳幼児と環境との関わりについて予習する。					
第3回	身近な環境との関わりと感性の育ち					教科書に目を通し乳幼児の認知的発達について予習する。					
第4回	モノとのかかわりを通して生まれる育ち					教科書に目を通し遊具や玩具、物とのかかわりについて知識を得ておく。					
第5回	自然とのかかわりを通して生まれる育ち①					教科書に目を通し乳幼児にとっての自然の大切さを理解しておく。					
第6回	自然とのかかわりを通して生まれる育ち②					教科書に目を通し乳幼児にとっての自然の大切さを理解しておく。					
第7回	社会とのかかわりを通して生まれる育ち					教科書に目を通し乳幼児と社会とのかかわりについて予習する。					
第8回	環境マップの作成 まとめ					本学周辺の自然環境や施設等を確認しておく。					
試験	定期試験を実施する										
教科書	新しい保育講座 保育内容「環境」 久保健太・高嶋景子・宮里暁美編著 ミネルヴァ書房				受講生へのメッセージ	保育は環境を通して行うものです。乳幼児にとって意味のある環境とはどのようなものなのかとも考えましょう。					
参考書等	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領及びそれら解説				実務経験に関する情報	①経験内容	元幼稚園教諭・小学校教諭				
						②科目との関連	幼稚園・小学校教諭としての業務経験をもとに実務に即した指導を行う				